

企業景況調査報告書

(平成28年10～12月期)

< 目次 >

調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2（直面している経営上の問題点）	・・・・・・・・・・	2
質問3（鳥取県中部地震について）	・・・・・・・・・・	3～4
質問4（意見等自由記載欄）	・・・・・・・・・・	5
DI集計結果・分布	・・・・・・・・・・	6～8
調査票様式	・・・・・・・・・・	9

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成28年10～12月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業23社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業20社、その他6社)
調査方法	各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	平成28年12月下旬～平成29年1月上旬
回収状況	76社(回収率76%) ※前回(7～9月)84社

<今期の状況>

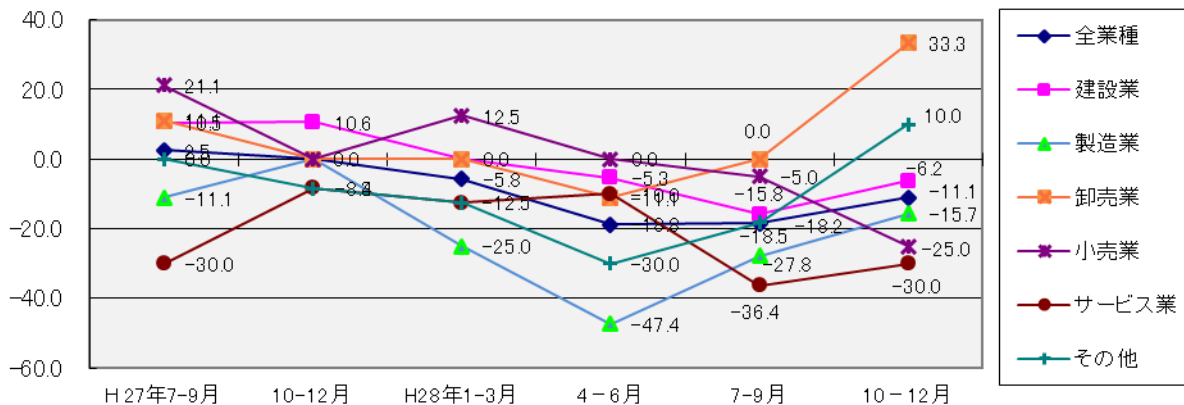
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲18.5から7.4ポイント上昇し、▲11.1となった。業種別に見ると、建設業、製造業・卸売業・サービス業・その他の業種で上昇しており、建設業が▲15.8から9.6ポイント上昇し、▲6.2、製造業が▲27.8から12.1ポイント上昇して▲15.7、卸売業が0.0から33.3ポイント上昇して33.3、サービス業が▲36.4から6.4ポイント上昇して▲30.0、その他が▲18.2から28.2ポイント上昇して10.0であった。一方、小売業は下降しており、▲5.0から20.0ポイント下降し▲25.0であった。

<来期の見通し>

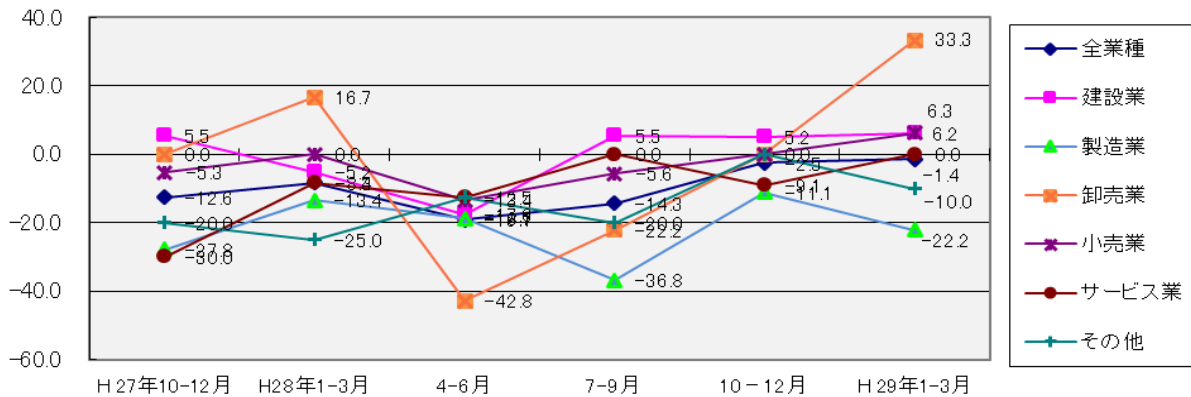
来期の見通し(平成29年1～3月)では、6業種中4業種で上昇傾向にあることから、全体の数値も▲1.4となり、(前期▲2.5)より上昇の見通しとなっている。業種別に見ると、建設業が6.3(前期5.2)、卸売業では33.3(前期0.0)、小売業が6.2(前期▲9.1)と上昇した。一方、製造業では▲22.2(前期▲11.1)、その他では▲10.0(前期0.0)と下降している。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP4をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味のものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※ () 内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	競争激化 (28)	売上・受注減少 (26)	消費・需要の停滞 (23)
	前 期	競争激化(34)	消費・需要の停滞(33)	売上・受注減少(31)
建設業	当 期	経費の増加 (8)	原材料・仕入価格上昇 (7) 人手不足 (7)	利益率低下 (5)
	前 期	競争激化 (10)	売上・受注減少 (7) 利益率低下 (7)	人手不足 (6)
製造業	当 期	売上・受注減少 (10)	消費・需要の停滞 (7)	競争激化 (6) 店舗・生産設備不足・老朽化 (6) 人手不足 (6)
	前 期	売上・受注減少 (11)	競争激化 (8)	利益率低下 (6)
卸売業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (3) 店舗・生産設備不足・老朽化 (3)	競争激化 (2) 消費・需要の停滞 (2) 新分野進出 (2)	売上・受注減少 (1) 経費の増加 (1) 人手不足 (1) 利益率低下 (1) その他 (1)
	前 期	消費・需要の停滞 (5)	売上・受注減少 (4) 利益率低下 (4)	競争激化 (3)
小売業	当 期	競争激化 (11)	消費・需要の停滞 (10)	売上・受注減少 (8)
	前 期	消費・需要の停滞 (13)	競争激化 (8)	店舗・生産設備不足・老朽化(7)
サービス業	当 期	競争激化 (4) 利益率低下 (4)	原材料・仕入価格上昇 (3) 人手不足 (3) その他 (3)	売上・受注減少 (2) 店舗・生産設備・老朽化 (2)
	前 期	競争激化 (4) 売上・受注減少 (4) 人手不足 (4)	消費・需要の停滞 (3)	原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2) その他 (2)
その他	当 期	売上・受注減少 (3)	消費需要の停滞 (2) 新分野進出 (2)	競争激化 (1) 店舗生産設備不足 (1) 経費の増加 (1) 利益率低下 (1) 代金回収難 (1) 資金繰り難 (1)
	前 期	消費・需要の停滞 (2) 売上・受注減少 (2) 経費の増加(2)	競争激化(1)売上・売上単価低下(1)店舗・生産設備不足・老朽化(1) 利益率低下(1) 代金回収難(1) 資金繰り難(1)	

17. その他の課題

- ※地震等による協力業者不足（建設業）、技能の継承（建設業）、下請けや職人の確保難（建設業）、
- ※土地移転（卸売業）、来店数減（卸売業）、
- ※人口減（サービス業）、熟練者の不足（サービス業）、部内ごとにそれぞれ人手が不足・過剰

質問3 平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震による影響等について

【建設業】

- ・ガラス施工の職人不足が続き、まだ解消できていない。あと三カ月は続きそうである
 - ・瓦、タイル等の職人が不足
 - ・職人不足、特に左官工事天候も悪く復旧が進まない
 - ・下請け業者の取り合いで、天候は穏やかだが、工期内で納まるか不安
 - ・人手不足となったが、一時的なものだから仕方がない
 - ・受注は増加となったが、現時点でこなせていない事が、残念である
 - ・屋根工事、左官業の担当が不足
 - ・屋根工事等は増加したが、予定工事の延期などで売り上げ増にはならない
 - ・被災した住宅の復旧工事を進めるにあたり、職人や下請の確保が難しく、工期面や工事受注に影響がでている
-
- ・屋根にブルーシートをかけたが、修理がおいつかずシートがはぐれてしまう。また、かけなおしが多い
 - ・屋根の補修が必要
 - ・地震の対応に追われ、通常業務に影響が出ている
 - ・屋根瓦の損傷があり対応に苦慮
 - ・平常通りになるには、しばらく時間がかかる

【製造業】

- ・耐震工事をしていたおかげで被害はなし
- ・被災したお客様の注文が、一時的に落ち込んだ
- ・社屋外壁破損、空調設備破損、窓ガラス破損
- ・機械にズレ、歪み等が出た
- ・シャッターが壊れ落ちた
- ・シャッターや機械等が破損、入手困難な砥石が破損し、今後代替品が入らない
- ・今後の地域経済低迷への影響
- ・一部設備、建屋の復旧工事があり、相当額の費用発生
- ・建物等は特に大きな被害はなかったが、予約のキャンセルがあった
- ・水道が使えないのが不自由であった
- ・民間・公共ともに需要が少し増えたが、年間を通すと昨年と変わらない
- ・県内の観光関係は11月、12月と低迷。地震による風評被害が原因と思われる
- ・製品の落下による被害あり。建物壁ひび割れ12ヶ所
- ・ほとんど影響なし
- ・今後、買い控えが予想され、売上に直結しそう。中部以外の顧客拡大が必要
- ・地震後の生産量が低下しているので、売上也減少となった
- ・設備等の修繕費が増加

【卸売業】

- ・外食の落ち込みが売り上げダウンにつながっている
- ・業務用のお店の売上減少、閉店の影響あり
- ・地震以降、学校給食・飲食店等の売上が大部低迷した。今は少しずつ回復してきている。学校給食が再開されたら良くなることを期待している
- ・工場内機械、配管等の破損があった

【小売業】

- ・住民の住宅に資金が欲しい（修理費等）
- ・一時的だが、買替により需要が増えた
- ・店舗建物及び商品の損壊
- ・店舗種物などに損壊が出るが、営業に支障なし
- ・中部地震による修理需要が見込まれ仕事があるが、弊社に需要があるのはしばらく先と見ている
- ・イベント中止に伴う売上減少
- ・売上単価が減少している
- ・社屋の一部破損
- ・客先の家屋が使用不能による顧客数の減
- ・10、11月は売上が減少、12月は前年並みに持ち直したが、一時的なものかもしれない。
- ・店内ラックの落下・軽量天井のこげ落ち・フィッティングルームの破損・店外壁面のひび割れ、軒下天井の落下・駐車場の破損・屋根の雨漏り
- ・店舗に被害が少々あり
- ・得意先の被災が多く、売上の減少につながっている
- ・事務所一部損壊
- ・PC教室会員の退会増

【サービス業】

- ・お客様が被災され解約が増えた
- ・一部の店舗の食器類の破損が大きかった
- ・道路等のインフラ関係の災害復旧によって売上は上がってきている
- ・少しではあるが社屋に被害がある
- ・工務店が多忙の為、被害の見積り不明
- ・オーバースライダー故障・基礎破損等
- ・設備の損傷、従業員の自宅の損傷などにより、営業を数日停止せざるを得なかった。売上に多少影響があった
- ・11月、12月と売上が減少した
- ・建物被害はあるが、売上等には深刻な影響はない

【その他】

- ・施設設備等の修繕費用に伴う経営への影響
- ・震災後の売上高が今後どの程度の期間影響するか
- ・設備破損、修理に着手できず現状の物あり

質問4 現在の景況感、企業経営上の問題点等について(要望・意見等自由記入)

【建設業】

- ・再来年以降の景気が読みづらい
- ・震災による調査を建物内部も行ってほしい(会社事務所等)
- ・小工事が多く経費が増加している
- ・一時的な好況感はあるが、増税、金利の見直し等による数年後を考えると常に不安がつきまとう
- ・継続的に利益を出し続ける企業になるためには、課題は山積みである
- ・建築関係は忙しいが、小売りは低迷すると思われる

【製造業】

- ・円安効果が中小企業にも波及する施策希望
- ・先の見通しが不透明な現状では、新しい雇用と設備投資が難しくなる
- ・観光では中部地震と共に、観光バスの運転制限が影響している。また、2020年度の固有記号の廃止は、経営上大きな問題点である

【卸売業】

- ・県外資本のお店の増加により売上減少

【小売業】

- ・地震による被害で部分損壊に補助金が少ないのが問題
- ・以前の西部地震を経験された方々の話などを聞いてみたい

【サービス業】

- ・人口増へ
- ・人口の減少が全てである。その点はどうしようもないのか?
- ・1次、2次産業には色々な助成金があるが、飲食業にはほとんどない。経営支援等の助成金があってほしい
- ・補正予算がついて公共事業が増えそうである。国、県、市がお金を使えば、この地方全体的に消費が増えて、景気が上向くのではないかと思う。
- ・受注状況を見ながらではあるが、高齢労働者と若年労働者の切り替えをする必要があると思っている。人は不足していないが、将来のことを考えると若い技術者育成は必要であると思う。
- ・景況は悪化、競争激化が進み、売上の減少を止める必要がある

【その他】

- ・消費の停滞
- ・施設設備の老朽化
- ・採用における人員難
- ・従業員教育・研修に時間をかけ、リスクを増大させない経営をしていくこと
- ・新しい得意先を拡大するべく努力していること

D I 集 計(前年同期比＝H28年10～12月期、来期の見通し＝H29年1～3月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.4	-10.9	-1.4	1.4	-12.3	-4.2
製造業	-10.5	-31.6	-5.3	0.0	-21.0	-33.3
非製造業	-13.0	-3.7	0.0	1.9	-9.3	5.6

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-7.1	-2.8	9.7	2.9	-5.5	-15.2
製造業	0.0	5.3	10.5	5.6	5.3	10.5
非製造業	-9.6	-5.7	9.4	1.9	-9.3	-24.5

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-11.1	-1.4
製造業	-15.7	-22.2
非製造業	-9.4	5.7

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.4	-10.9	-1.4	1.4	-12.3	-4.2
建設業	18.7	-6.3	18.8	18.7	12.5	6.3
製造業	-10.5	-31.6	-5.3	0.0	-21.0	-33.3
卸売業	-33.3	66.7	16.7	33.3	16.6	50.0
小売業	-35.3	-17.7	-17.6	-5.9	-29.4	0.0
サービス業	-30.0	-20.0	-11.1	-22.2	-40.0	-10.0
その他	20.0	0.0	0.0	-20.0	20.0	0.0
非製造業	-13.0	-3.7	0.0	1.9	-9.3	5.6

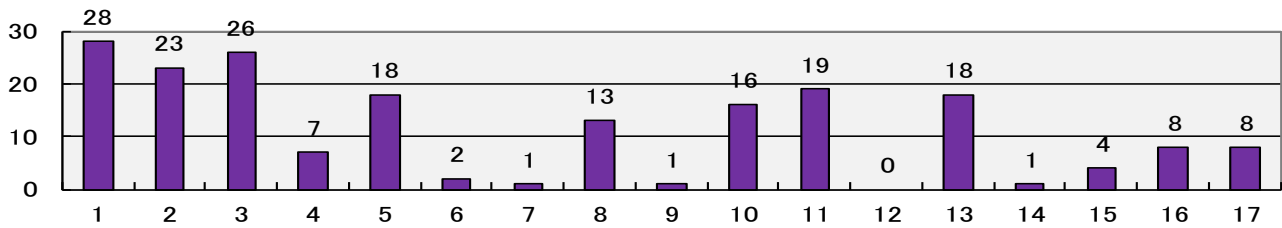
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-7.1	-2.8	9.7	2.9	-5.5	-15.2
建設業	6.3	0.0	12.5	6.3	-18.7	-37.5
製造業	0.0	5.3	10.5	5.6	5.3	10.5
卸売業	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	-16.7
小売業	-17.6	-17.6	5.9	5.9	-29.4	-25.0
サービス業	-22.2	0.0	20.0	0.0	0.0	-40.0
その他	-50.0	-20.0	0.0	-20.0	30.0	20.0
非製造業	-9.6	-5.7	9.4	1.9	-9.3	-24.5

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-11.1	-1.4
建設業	-6.2	6.3
製造業	-15.7	-22.2
卸売業	33.3	33.3
小売業	-25.0	6.2
サービス業	-30.0	0.0
その他	10.0	-10.0
非製造業	-9.4	5.7

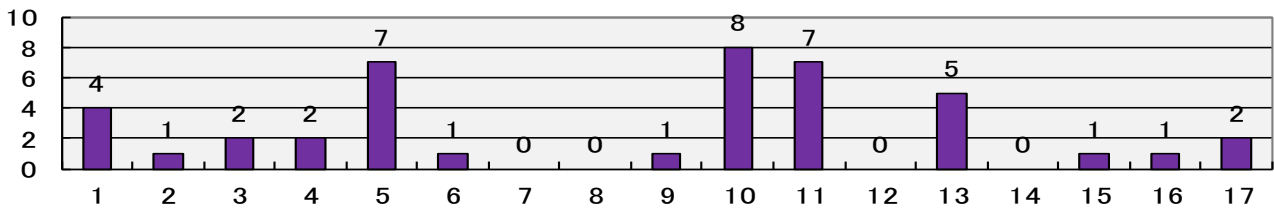
質問 2 今期直面している経営上の問題点

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 3 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 4 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他 |
| 9 店舗・生産設備過剰 | |

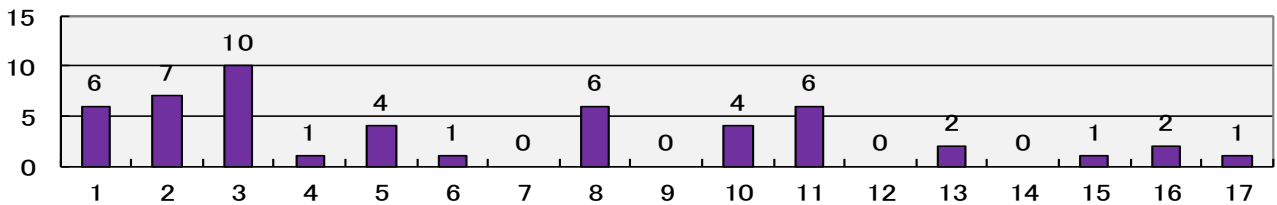
全業種(複数回答)



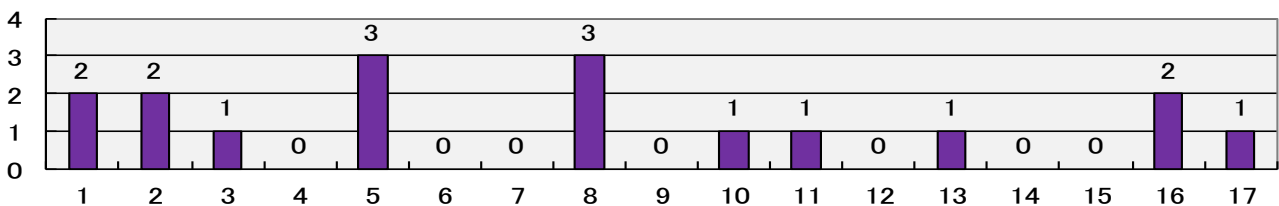
建設業(複数回答)



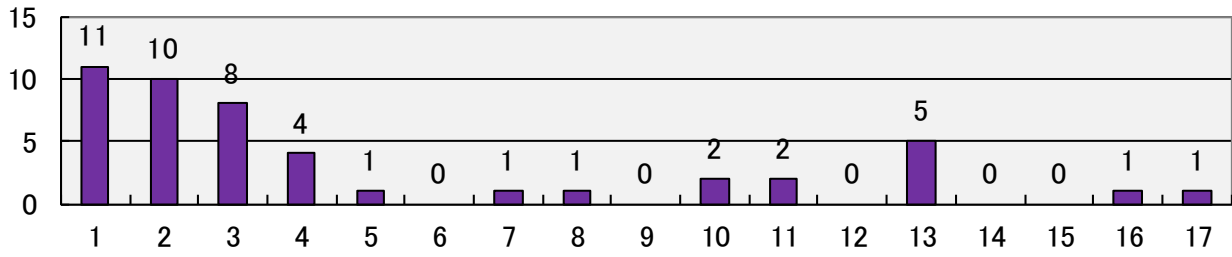
製造業(複数回答)



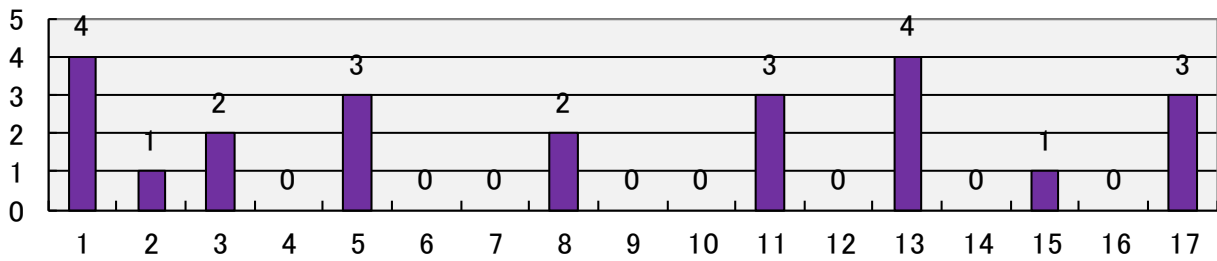
卸売業(複数回答)



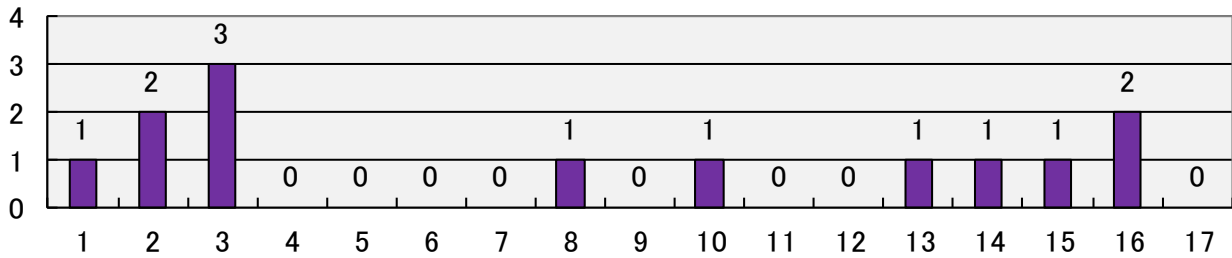
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊚

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成28年10~12月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成28年10~12月)の状況と、今期と比較した来期(平成29年1~3月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

- | | | | | |
|----------|----------|--------------|-----------|-----------|
| 1) 売上高 | (前年同期比) | 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 |
| | (来期の見通し) | 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 |
| 2) 売上単価 | (前年同期比) | 1. 上昇 | 2. 不変 | 3. 低下 |
| | (来期の見通し) | 1. 上昇 | 2. 不変 | 3. 低下 |
| 3) 収益状況 | (前年同期比) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| | (来期の見通し) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| 4) 資金繰り | (前年同期比) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| | (来期の見通し) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| 5) 借入難度 | (前年同期比) | 1. 容易 | 2. 不変 | 3. 困難 |
| | (来期の見通し) | 1. 容易 | 2. 不変 | 3. 困難 |
| 6) 雇用人員 | 現在の従業員数 | 人(うち正規雇用者 人) | | |
| | (前年同期比) | 1. 過剰(増加) | 2. 不変(適正) | 3. 不足(減少) |
| | (来期の見通し) | 1. 過剰(増加) | 2. 不変(適正) | 3. 不足(減少) |
| 7) 貴社の業況 | (前年同期比) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| | (来期の見通し) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震による影響等についてご記入ください。

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。